

第三者評価結果

事業所名：にじいろ保育園戸塚駅前保育園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織 1 理念・基本方針

| | |
|--|---------|
| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | 第三者評価結果 |
| 【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | b |
| <コメント> | |
| 当園では、園長先生のリーダーシップとチーム一丸となった取り組みのもと、理念や基本方針の明文化と周知に注力しています。企業理念「人からありがとうと言われるサービスを提供する」に基づき、園パンフレットやホームページに「子ども理念」を掲載し、法人と園が一致した考えを示しています。職員は入職時に「保育理念」研修を受講し、保育室や事務所に掲示された子ども理念、保育方針、保育目標を深く理解し、心に刻んでいます。職員会議では「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛」を大切に、保育実践に生かす指導が行われています。さらに、入園説明会では重要事項説明書を通じて保護者に理念や保育方針を丁寧に説明し、園全体で理念の共有と実践を図っています。 | |

2 経営状況の把握

| | |
|---|---------|
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | 第三者評価結果 |
| 【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | b |
| <コメント> | |
| 当園は、事業経営の環境と現状を適切に理解し分析する体制が整っています。園長は横浜市私立園長会の理事として活動し、そこで得た情報を園運営に反映させています。戸塚区の園長会や本部開催の園長会への参加を通じて、新しい制度や人権保障、虐待防止、不適切な保育に関する情報を得て、職員に共有し、園の課題解決に役立てています。また、横浜市からの契約関連書類を細かく分析し、園児の利用状況を見極め、経営状況を常にチェックしています。 | |
| 【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | b |
| <コメント> | |
| 園長を中心に経営課題の明確化と具体的な取り組みに尽力しています。園長は本部からのメールや本部園長会に積極的に参加し、園の課題を把握し、リーダー会議で解決策を提案・発信しています。また、本部主催の「共育ミーティング」に参加し、社長からの経営状況の情報を理解し、職員に伝える役割も担っています。保育園が置かれている状況を踏まえ、足りない部分や改善点を特定し、職員の方向性を正しく導いています。園長と主任の企画力により、内外研修やOJTを実施し、その効果を保育の資質向上にどのように生かすかを常に検証しています。 | |

3 事業計画の策定

| | |
|--|---------|
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | 第三者評価結果 |
| 【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | b |
| <コメント> | |
| 中長期的なビジョンを明確にした計画を策定しています。本部が作成した共通理念は、職員に向けたにじいろガイドや利用者に配布する重要事項説明書に明記されており、これによって園の基本方針と目指すべき姿がしっかりと伝わっています。特に、問題が生じた場合の解決策を明瞭なフローチャートで示しており、職員や保護者が迅速かつ的確に対処できるようサポートしています。中長期計画では、職員の成長支援制度を活用して個々の目標達成に努め、園長による評価が容易な体制を整えています。この計画は3年間のスパンで設定されており、毎年の振り返りと次年度の計画見直しを通じて、保育園の持続的な成長と職員のスキルアップを目指しています。 | |
| 【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | b |
| <コメント> | |
| 中長期計画に基づいた単年度の事業計画の策定をおこなっています。単年度の事業計画では、中長期計画の内容を踏まえ、保育園の現状を正確に把握し、実行可能な範囲内で具体的な事業内容を明確に示しています。さらに、単年度の事業計画は単なる計画に留まらず、数値目標や実現可能な成果を見越した内容を含めています。これにより、園は年間を通じて具体的なかつ実践的なアプローチを取り、目標達成に向けて園の運営を効果的に進めています。 | |

(2) 事業計画が適切に策定されている。

| | |
|--|---|
| 【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | b |
|--|---|

<コメント>

事業計画は昨年度の職員会議での意見集約と共有を基に、話し合いを通じて策定されます。計画は単に策定するだけでなく、半期ごとに達成に向けた実現を試み、その後の振り返りを行い、後半の半期に向けた手順の把握と理解に努めています。半期を終えた際には、職員会議での達成時期の評価や見直しが行われ、事業計画作成時にはその都度職員会議で説明し、職員全員が理解できるように取り組んでいます。

| | |
|--|---|
| 【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | b |
|--|---|

<コメント>

事業計画が完成すると、玄関先にファイルされ、誰もが閲覧可能な形で展示されています。春のクラス懇談会や入園式では、主要な内容を分かりやすく説明し、保護者の理解を深めています。さらに、園だよりやおたより作成時には、保護者が容易に理解できるように、説明文を丁寧に加えています。また、イベントや懇談会などでの保護者への声掛けは、職員全員が一貫した内容で行うよう心掛けており、保護者の参加を促しています。これらの取り組みにより、保護者への事業計画の周知と理解を促しています。

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 第三者評価結果

| | |
|--|---|
| 【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | b |
|--|---|

<コメント>

全ての保育書類に自己評価欄を設け、PDSAサイクルに基づく計画、保育実践、振り返り、課題の解決が行われ、持続的な改善が行われています。本部のにじいろガイドには、職員の資質向上と自己評価の大切さが記載され、職員はそれを実施できるようになっています。年1回、保育園の自己評価を職員と共有し、協力して改善を推進し、5年に1回の第三者評価を本部の指導の元で受審し、その結果を詳細に分析し運営に生かしています。

| | |
|--|---|
| 【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | b |
|--|---|

<コメント>

保育所の自己評価から得た結果をもとに、具体的な課題を明確にし、計画的な改善策を実施しています。自己評価表を活用し、職員の評価を細部まで分析し、評価欄に課題を具体的に記載することで、次年度の計画策定において重要な指針となり、保育の質向上に寄与しています。また、自己評価表の結果は保護者にも公開され、保育所の透明性を高め、信頼性を築いています。保護者との対話を通じて、園の運営に関するフィードバックを受け取り、より良い保育環境を提供できるよう努めています。

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。 第三者評価結果

| | |
|---|---|
| 【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | b |
|---|---|

<コメント>

にじいろガイドは園長の役割や具体的な業務を明確に示し、保護者や職員との信頼関係の基本事項、自然災害や事故のフロー図が分かりやすく明記され、園長の役割と責任についても詳細に記載されています。園長は、職務分掌を明示し、会議などを通じて職員に説明し、周知させた後、理解を得ています。さらに、園長不在時には代行体制を主任に権限委任することで、円滑な運営を確保しています。

| | |
|--|----------|
| <p>【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p> | <p>b</p> |
| <p><コメント> 園長は、守るべき法令を理解し、業者や関連機関との信頼関係を築く重要性を認識しています。また、園長は常に現状に満足せず、研修や勉強会に積極的に参加し、時代の変化を視野に入れながら取り組みを進めています。さらに、園長は保育園を取り巻く環境を深く理解し、施設の清潔化やSDGSに関連した取り組みを積極的に行っています。重要な法令については、職員との協力を通じて理解を得た上で、実現可能な取り組みを実行しています。</p> | |
| <p>(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p> | |
| <p>【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 園長は、中長期計画書、職員育成研修年間計画書、保育園の自己評価表、成長支援シートを定期的に分析し、保育の質向上に向けた課題を抽出しています。児童票、全体的な計画、指導計画、行事計画書は主任や担当リーダー保育士との指導分担を明確にし、園長が統括して、保育の質向上を目指した体制を構築しています。特に、行事計画書では、職員の意見を尊重し、主体的に関与できるよう工夫され、意欲を高めています。さらに、園長は保育の質の向上に向けて、外部研修の機会を提供し、それを内部研修に導入して、保育の充実に力を注いでいます。このようなアプローチにより、園内の職員は成長し、保育の質向上に向けた意欲的な姿勢を持つことができている。</p> | |
| <p>【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 人事労務や財務に関する分析は本部の担当部署で行われ、園長は送られてくるデータを元に、教材費や消耗品、職員研修費などの必要経費を管理しています。年度末には本部から収支決算書が送られてきますが、園長はこれを玄関先に保管し、保護者がいつでも閲覧できるように配慮しています。また、園長は職員が働きやすい環境を整備するため、有給休暇やシフト管理、勤怠管理などを管理しています。職員の労働条件や勤務体制についても配慮し、円滑な業務遂行と職員の満足度向上に努めています。園長の指導力とチーム全体の協力を得て、経営の改善と業務の実効性向上に取り組んでいます。</p> | |

2 福祉人材の確保・育成

| | |
|---|----------|
| <p>(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p> | |
| <p>【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> | <p>b</p> |
| <p><コメント> 人員確保については、本部の人事部門が採用に関して全面的にサポートし、各園に適切な職員を配置しています。園の運営においては、チーム一丸となり特別な支援が必要な園児も含め質の高い保育を提供しています。保育士のスキルアップは、成長支援計画を活用し本部との連携を強化し、現在の等級に満足せず、広い視野で目標を考え成長につなげています。外部研修や戸塚区が開催している公開保育なども活用しながら育成をおこなっています。</p> | |
| <p>【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 本部では、にじいろガイドを通じて「期待する職員像」などを明確にし、人事に関しては「満足度調査」や「意向調査」を通じて職員の声を受け止め、改善策を本人に伝え検討・実施しています。また、「成長支援の手引き」には、職位による期待度や社会人としての「規律」「協調性」「コミュニケーション能力」「マネジメント能力」などが明確化され、園長は会議などで説明、理解、周知、実行などを行っています。園長と本部との連携を通じて、職員が将来現場で輝ける人材としてスキルアップを前向きに考えられる仕組みが整備されています。</p> | |
| <p>(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p> | |
| <p>【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。</p> | <p>b</p> |
| <p><コメント> 本部では、有休取得率や残業などのデータを分析し、園長と連携して労働状況に応じた改善策を実施し、有給休暇は完全に消化されています。本園では、本部の指導に従い、残業を行う前に園長に申請し、少ない時間の残業となっています。また、本部では、職員のメンタルヘルス、ハラスメント、労働災害への対応として、産業医や臨床心理士による相談窓口を設置しています。職員の健康と安全に配慮し、心身の健康をサポートしています。さらに、職員の希望と園の運営の兼ね合いを考慮したシフト管理を行い、職員の満足度向上を図っています。事務時間の設定により、勤務時間内に仕事をスムーズに完了でき、職員のワークライフバランスを支援しています。</p> | |

| | | |
|--|--|---------|
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| 【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | | a |
| <コメント> 職員の目標設定は園長との個別面談によって決定されています。個別面談では、職員の考えや仕事のスキルアップを目指すためのシステムが整備され、職員が実行可能な目標項目を等級別を選択できるようになっています。人事考課の内容は、職員の成長をサポートするために設計され、半期の中間には進捗状況の確認と悩みの共有を目的とした面談が行われ、援助や助言が提供されています。成長支援の内容は、本部と情報を共有し、園長面談などで具体的な成長度合いを評価し、目標達成に向けて職員を配慮しながら育成しています。 | | |
| 【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | | b |
| <コメント> にじいろガイドには、望ましい保育士としての資質や社会人としての基本が明記され、本部は研修計画を策定し社内研修を実施しています。園自体も4月に職員育成年間計画を策定し、教育・研修に取り組んでいます。職員研修において、私立園長会のキャリアアップ研修に参加するなど、職員は知識を身につけるだけでなく、実務での活用にも重点を置いています。園内研修では、主任や副主任がテーマを決定し、保育の引き出しを充実させる取り組みを行っており、今後はさらに多角的な視点から保育の資質向上に貢献する内容に進化させていく予定です。園全体で職員の教育・研修に取り組み、保育の質向上に向けた努力を一丸となって行っています。 | | |
| 【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | | a |
| <コメント> 園長や主任は、職員の受講希望や日々の保育の中で把握した課題やスキルを考慮し、個別の面談を通じて適切な研修を選定しています。さらに、新任研修から2年目から5年目までのフォローアップ研修については、本部が対象職員のアンケートをもとに、経過年数に合った研修計画を策定しています。外部研修においても、職員への分け隔てなく計画と参加を促し、人員不足の際には職員が出勤して運営をサポートしています。また、外部研修の情報は、職員が簡単に閲覧できるファイルにまとめて提供されており、情報の共有とアクセスが円滑に行われています。 | | |
| (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | |
| 【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | | b |
| <コメント> 実習生の受け入れにおいては、本部と学校側との協力が欠かせず、両者の打ち合わせを通じて詳細なプログラムを構築し、円滑な実習環境を整えています。実習生に関しては、にじいろガイドに詳細が記載され、受け入れから実習終了までのプロセスが明確に示されています。また、実習生の受け入れに際しては、マニュアルに基づき、会議などを通じて育成についての留意点や配慮事項を徹底的に伝えています。子どもの生活をよく理解し、緊張をほぐすための配慮やプログラムの提供を行い、円滑な実習を支援しています。さらに、実習生の指導に関しては、クラス担任と管理者が集まり、会議を行い、効果的な指導方法やアプローチについて話し合っています。 | | |
| 3 運営の透明性の確保 | | |
| (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | 第三者評価結果 |
| 【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | | b |
| <コメント> 保育理念を園内各所に掲示し、エレベーターホールには運営規程や重要事項説明書、計画書類、財務報告、自己評価、会議記録を整理し、保護者がいつでも閲覧できる環境を整えています。また、苦情受付の流れや行政相談窓口も明記し、第三者評価の結果も園内に備えています。さらに、ホームページでは園の詳細、空き情報、保育概要、プログラム、特色、年間行事、設備、保育理念などを紹介し、地域の方々にも情報を公開しています。これらの取り組みは、園長先生の指導のもと、チーム一丸となって達成されており、透明性の高い保育園運営を実現しています。 | | |
| 【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | | a |
| <コメント> 当園は、本部の指導の下、事務・経理書類を作成し、これを月末に本部へ提出し確認を受けています。また、行政からの監査書類も本部との連携で作成後、本部が確認し送付しています。会計面では、本部が専門機関と提携し会計監査を受け、監査結果を受け入れて行政の指導や改善点についても本部と共有し、改善への取り組みを進めています。さらに、小口書類は月末に本部へ提出し、年4回の実査を通じて園長以外の複数職員が経理事務の適切な処理を確認しています。 | | |

4 地域との交流、地域貢献

| | |
|--|---------|
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | 第三者評価結果 |
| 【23】 Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | b |
| <コメント> | |
| <p>コロナ収束を受け、今年度から子育て支援と地域交流の活動を開始し、園長と主任が相談して年に3回ずつ開催しています。また、ホームページを通じて地域の参加者を募ることで、より多くの地域住民との繋がりを築いています。保育園の活動を地域に広めるため、区役所を通じてパネルを作成し情報を提供しています。さらに、区役所の関係者の紹介を受け、玉ねぎの収穫体験など地域行事にも積極的に参加しています。これにより、園は子どもたちに地域との交流の重要性を教え、地域社会との絆を深めています。</p> | |
| 【24】 Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | b |
| <コメント> | |
| <p>当園では、ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、その体制を確立しています。今年度より、近隣の中学校や高等学校と連携し、インターシップの受け入れを開始しました。ボランティアに関するマニュアルは「にじいるガイド」に記載されているものの、今まで実施していなかったため、職員の中にはまだ把握していない方もいます。このため、職員会議や申し送りノートを通じて情報の周知を進める必要があります。今後は、これらのつながりを深め、学校教育への協力を行いながら、少子化対策としての保育士不足解消に向けた取り組みも進めます。保育士の魅力を伝え、地域社会との協働を促進することで、保育園運営の充実を目指しています。</p> | |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。 | |
| 【25】 Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | b |
| <コメント> | |
| <p>必要な社会資源の明確化と関係機関との連携を適切に行っています。園の紹介パネルは職員会議で共有し、職員の意見を取り入れて完成させました。これは、戸塚区の園長会や看護師会に参加する際の資料としても使用し、地域における保育園の役割やあり方を明確にし、情報共有を行っています。また、園長は私立園長会の理事として様々な団体の意見交換会に積極的に参加し、問題点の協議と解決策の模索を行っています。特に区役所の家庭支援課とは密に連絡を取り合い、必要に応じて情報提供や連携を図り、対策を練っています。</p> | |
| (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | |
| 【26】 Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。 | b |
| <コメント> | |
| <p>園長は区主催の園長会に参加し、待機児童の状況や地域の子育てニーズを理解しています。また、戸塚区が募集した園紹介のパネルを作成し提出することで、園の情報を地域に広めています。さらに、幼保小連絡会にも参加し、共通の教育テーマに基づく課題や情報、意見交換を行っており、これらの活動は園の方針を形成する上で重要な役割を果たしています。年に二回の運営委員会では、地域の民生委員を第三者として招き、情報交換や園運営の連携を図っています。コロナ感染症の収束後は、入園希望者の見学会を通じて園の見学や地域の方々との情報交換を行っており、地域支援としての交流やイベントの集客も積極的に行っています。</p> | |
| 【27】 Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | b |
| <コメント> | |
| <p>当園では、地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動を積極的に行っています。年間3回、地域子育て支援の一環として、育児講座や交流会を開催しており、ベビーマッサージ、リトミック、感覚遊びの紹介、絵本や手遊びの普及活動などを行っています。今後は地域向けの絵本貸し出しや公園での読み聞かせも計画しています。また、戸塚区の施設に掲示するパネルを制作し、園の情報を広く共有しています。本部がリニューアルしたホームページを通じて、地域からの問い合わせが増え、イベント参加や育児相談も積極的にを行っています。さらに、災害発生時には地域住民への支援を想定し、備蓄品も用意しています。</p> | |

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

| | |
|---|---------|
| (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | 第三者評価結果 |
| 【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | b |
| <コメント> | |
| 当園では、年間3回地域子育て支援の一環として育児講座や育児交流会を実施し、ベビーマッサージ、リトミック、感覚遊びなどを紹介し、絵本や手遊びの普及に努めています。これらは、子どもの成長を支える活動として、地域にも広げていくことで、より多くの方々との共有を目指しています。今後は地域向けに絵本の貸し出しや公園での読み聞かせを計画しており、これにより子どもたちの発達を促すと共に、保護者や地域住民との関係を強化しています。また、戸塚区の施設に掲示するパネルを作成し、園の取り組みを広く伝えることで、地域の方々からの関心も高まり、イベント参加や育児相談への積極的な対応を行っています。さらに、防災時には地域住民への支援を行うため、備蓄品も準備しています。 | |
| 【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。 | b |
| <コメント> | |
| 当園はPマークに準じた法人として、プライバシー管理台帳を3か月ごとに本部へ提出し、本部が作成したマニュアルに従って運営されています。にじいろガイドに記載されたマニュアルや規定を基に、子どもたちの個人情報の取り扱いには特に注意しており、書類への名前記入時にはイニシャルを使用するよう指導しています。また、「おおきなうち」というコンセプトの下、子どもたちがリラックスできる環境を提供し、快適に過ごせるよう設備を整えています。園内には誕生児や職員の写真を掲示していますが、名前を出さずにプライバシー保護に配慮した対応を取っています。 | |
| (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | |
| 【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 | b |
| <コメント> | |
| 本部のホームページでは、保育園の理念や基本方針、保育の実践事例を視覚的に分かりやすく公開しており、利用希望者にとって有益な情報源となっています。また、園のホームページでは、園長のコメントをはじめ、ブログや年間行事の季節ごとの説明、園だよりなども公開し、園の内容を具体的に伝えていきます。昨年度まではコロナの影響で見学が制限されていましたが、今年度はコロナ収束に伴い、見学を再開しました。入園希望者や地域の方々には、園内を詳細に案内し、ホームページの情報、園長の説明、育児相談などを通じて、丁寧にわかりやすい説明を行っています。これにより、保育園の雰囲気を感じ取っていただくことが可能です。 | |
| 【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 | b |
| <コメント> | |
| 入園時には、入園説明会で「重要事項説明書」と「個人情報使用承諾書」の内容を詳しく説明し、同意を得た上で署名を頂き、保護者と園で一枚ずつ保管しています。また、入園前の準備用品に関しては、写真付きの資料を作成し、説明会で実物を見せながら詳細な説明を行い、保護者の理解を深めています。特に保護者が気になる慣れ保育については、担任との面談を通じて保護者が納得できる日時を提案し、実施しています。保育サービスに変更がある際には、重要事項説明書を更新し、保護者に署名をお願いしています。さらに、ナナボケや安心伝言板などの配信ツールを利用し、情報を全員に共有することを徹底しています。 | |
| 【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | b |
| <コメント> | |
| 保育所の変更の際には保育の継続性に配慮した対応を行っています。転園が必要となる保護者の事情に応じて、変更先の施設や行政と連携を図り、保護者の同意を得た上で、必要な情報を提供しています。卒園や退園後も、園児や保護者の成長を見守ることを基本姿勢とし、にじいろ保育園が目指す「子どもの成長に寄り添う」精神と「第二のおうち」であることを伝え続けています。特に、今年度からはコロナの収束を受けて、卒園児をイベントなどに招待する葉書の発行や、玄関先の伝言板にポスターを掲示するなど、卒園と共に縁が途切れないような取り組みを実施しています。 | |
| (3) 利用者満足の向上に努めている。 | |
| 【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | a |
| <コメント> | |
| 日々の園生活において、園児の表情や活動の様子を観察し、満足感を得られる保育を実践しています。保育士が作成する週案、月案、年間計画を通して保育の実践を把握し、年間を通じた反省と自己評価を行っています。保護者に対しては、年2回の懇談会や個人面談を実施し、保護者の満足度を職員会議などで話し合い、改善策を模索しています。クラス懇談会では、保育目標の書類を作成し、保育に対する理解を深めています。また、イベント時にはアンケートを配布し、その結果をまとめて提示することで保護者の理解を一層深めています。 | |

| | |
|---|---|
| (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | |
| 【34】 Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | b |
| 【判断した理由・特記事項等】 苦情に関しては主任が受け付け、園長が迅速に解決に努めており、苦情内容は報告書にまとめられ本社へ提出されます。園長が解決できない場合は、本社が直接来園し対応を行っています。この苦情解決システムについては園内に掲示しており、園に言いづらいことに対しては、WEB相談窓口を通じて直接本部に意見を伝えることができるシステムも導入しています。苦情の利用と解決結果は保護者への配慮を考慮した上で、園内掲示等を通じて公表しています。 | |
| 【35】 Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | b |
| <コメント> 保護者が相談や意見を言える方法について重要事項説明書を基に説明しています。入園説明会では、苦情解決のプロセスを説明し、保護者が安心して子どもを預けられる環境であることを伝えています。相談は、担任だけでなく園長、主任、看護師、栄養士など、内容に応じて相談相手を選べることも説明しています。また、玄関先に設置したスマイルBOXや、本部へのWeb相談の可能性についても説明しており、保護者が気軽に意見を伝えられる仕組みを提供しています。重要事項説明書には地域の民生委員である第三者委員の連絡先も記載し、多様な相談窓口を提供しています。 | |
| 【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | b |
| <コメント> 職員は保護者とのコミュニケーションを親しみやすい声掛けと傾聴の姿勢を心がけており、相談内容は随時共有されています。イベントなどの際には、アンケートを配布し、収集した意見を集約して園内に掲示することで、保護者の声を反映しています。また、園内に設置されたスマイルBOXは、園長と主任が確認し、迅速に意見への対応と解決に努めています。対応マニュアルについては、本部運営部が定期的に見直しを行い、園長会などを通じて全園長と共有しています。 | |
| (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 | |
| 【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | b |
| <コメント> アクシデントレポートやヒヤリハットの報告書は園長の指導の下、分析され職員間で共有しています。事故原因や対策については、職員が話し合う機会が定期的に設けられ、予防策や改善策の策定に役立てられています。また、看護師が中心となり年に数回の緊急対策訓練を実施し、職員のスキル向上に努めています。さらに、職員が外部研修で得た知識は日々の保育に活かされ、子どもたちの安全を確保するための対応力を高めています。 | |
| 【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | b |
| <コメント> 園長と看護師を中心に、チーム一丸となって感染症の予防と発生時の子どもの安全確保のための体制を整備し、取り組みを行っています。感染症対策として、園長と看護師が主導して勉強会を開催し、職員の知識向上に努めています。また、感染症の予防や発生時の対応については、行政からのメール情報を参考にし、流行状況に応じて適宜対応を行っています。本部のマニュアルは看護師会を中心に定期的に見直しを行い、常に最新の情報に基づいた対策を講じています。園内で感染症が発生した場合には、保護者への相談対応や速やかな情報伝達を、連絡ツールや掲示を通じて行っています。 | |
| 【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | b |
| <コメント> 災害時の子どもの安全確保を目的とした組織的な対策を行っています。本部の指導に基づき、効果的な防火管理組織を編成しています。園の立地条件を考慮し、災害の想定に基づいた避難経路や避難場所の対策を常に検討しています。今年度からは、171災害用訓練や安心伝言板の必要性を保護者に伝え、避難場所を連絡帳に記入するなど、訓練への参加を促しています。また、備蓄品や防災用品のリストを作成し、給食室の職員が管理しており、賞味期限が近い備蓄品は防災の日の給食で使用しています。さらに、戸塚消防署やJR東日本都市開発との連携を取り、園やビル管理者が開催する避難訓練に積極的に参加しています。 | |

2 福祉サービスの質の確保

| | |
|---|---------|
| (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | 第三者評価結果 |
| 【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>当園は、標準的な保育実施方法を文書化し、保育サービスを提供しています。「にじいろガイド」「看護・保健ガイド」「栄養・給食ガイド」には、社内の統一基準としての保育実践方法が詳細に記述されており、職員はこれらのガイドを参考にしています。会議や社内研修では特に「にじいろガイド」を活用し、子どもの年齢別成長段階や「人権」「虐待」に関する内容を明示しています。これにより、職員間での対応の違いをなくし、不適切な保育が行われないよう、子どもの人権を尊重した高質な保育を実現するための基準を設けています。また、昨年度本部による「子どもの人権」研修の内容は、職員全員が忘れずに保育に取り組むよう努めており、カリキュラム会議での確認も徹底しています。</p> | |
| 【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>保育方法の指針となる「にじいろガイド」は、本部運営部によって適宜見直されており、保育部分は2019年に改定され、看護・給食等のセクションに関しても必要に応じて改定と差し替えを行っています。また、本部では全体的な計画の見直しを年度初めに実施し、それに基づいて各園で年間指導計画、保健計画、食育計画などを作成しています。職員会議を通じての反省・振り返りは、次年度の計画に反映されています。さらに、行事計画については、職員や保護者の意見を取り入れ、柔軟に見直しを行っています。</p> | |
| (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | |
| 【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>入園時には家庭調査票を基に、担任との面談を通じて子どもと保護者の生活状況を把握し、その情報を基に支援を行っています。保育が開始された後は、連絡帳や個人面談、日常の保護者とのコミュニケーションを通じて得られる情報を職員間で共有し、それを基に個別指導計画を策定しています。指導計画の作成には園長や主任が確認し、指導にあたります。保育実践に関する振り返りや評価は毎月の会議で行われています。また、個別に支援を要する子どもや家庭支援が必要なケースには、園長、主任、看護師で情報を共有し、区の家支援課や児童相談所・保健所などとも連携を取り、協議や相談を行っています。</p> | |
| 【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 | b |
| <p><コメント></p> <p>当園は、指導計画の定期的な評価と見直しを行っています。今年度から開始されたカリキュラム会議では、各クラスの月間の目標や保育内容を共有し、意見交換を行っています。これにより、保育の質の向上と一貫性を確保しています。見直しによって変更された指導計画はコピーを配布し、職員全員に周知しています。クラス内で特定の課題が生じた場合には、園長や主任に相談し、問題解決に取り組んでいます。また、指導計画には評価、振り返り、改善点を明確に記載し、翌月の指導案作成に生かす体制を取っています。</p> | |
| (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 | |
| 【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | b |
| <p><コメント></p> <p>個々の子どもの成長過程は、「発達経過記録」様式を使用し定期的に記録され、1歳から3歳の児童については個別指導月案を策定しています。個別の支援が必要な園児には、乳児用の連絡帳を使って保護者との日々の生活を共有し、個別指導月案を用いて成長記録を行っています。今後は個別教育支援計画や個人指導課題目標の文書を作成する予定です。職員が記録する保育記録用紙には園長、主任の印欄が設けられており、確認が必須となる仕組みです。必要に応じて、記録内容や表現方法について主任や園長から指導が行われています。また、会議録など全ての文書には全職員の捺印を受け、周知を目的としています。</p> | |
| 【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>本部から提供される個人情報保護規定に基づき、子どもの記録の保存年数や破棄に関する書類を管理し、年度初めには管理者が確認して実行しています。職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出し、本部で管理されています。記録管理は園長と主任が主導し、指導を行っています。また、会議や園内研修を通じて、職員に対し個人情報の重要性について教育を行っています。入園説明会では、園長が保護者に対して個人情報の取り扱いについて説明し、署名をもらい保管しています。重要な書類は、鍵のかかる書庫に保管し、書類の持ち出しには園長や主任の確認を厳守しています。これらの取り組みにより、子どもたちの個人情報を安全に管理し、保護者の信頼を得ながら適切な保育を提供しています。</p> | |